

防火標語
火を消して
不安を消して
つなぐ未来



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)
〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
TEL (026) 232-5319
編集発行人
上條博文

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>



新年のごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長
上條 博文

県下77消防団、2万9千500名の団員をはじめ、消防関係者の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
1月1日に発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に心から哀悼の誠を捧げます。また、被害に遭われ不自由な生活を余儀なくされておられる方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く安全な暮らしを取り戻されるようお祈り申し上げます。
近年は地球規模の気候変動の影響が顕著となったこともあり、世界各地で大規模な災害が相次いで発生しています。昨年、県内では5月の霧ヶ峰高原での広範な山火事や、5月から7月飯田下伊那地域をはじめ各地で大雨による土砂災害や浸水被害、12月には白馬村で土砂災害があり、今なお復旧途中であります。各地の災害現場で警戒、避難誘導、復旧作業に関わっ

てこられた消防団員をはじめ、日頃より使命感を持って活動、訓練されておられる全ての消防団員の皆様に敬意と感謝の意を表します。
今回の地震により、災害は時間も場所も選ばない、いつ起こるか分からない、という点から、備えがいかんにか大事かということに改めて認識させられました。このような状況の中、地域と住民の生活の状況を把握した上で活動する消防団に寄せられる期待は大きく、私たちの使命は益々重要になっていきます。
長野県消防協会といたしまして、昨年5月、新型コロナウイルスの位置付けが5類になったことで、様々な事業を見直しながら、概ねコロナ前の体制で講習会、各種研修会、県ポンプ操法、ラッパ吹奏大会を実施してまいりました。県大会等に参加された選手、団幹部、事務担当者の皆さん、女性

消防団員の皆さんとお話をする中で、皆さんの熱意に触れることができました。特に女性消防団員の活躍には、各団が団員減少に悩む中、今後の活動への希望を得たところです。今後も消防団活動への理解促進と団員確保の取り組みを推進するとともに、やりがいがあり、入って良かったと思える消防団を目指して取り組んでまいります。
さて、昨年複数の消防団の不適切な会計処理が明らかになりました。会計に携わる団員と監督する団員は、今一度見直しを行い、団の内外に説明できる正しい会計処理に取り組んでいただきたいと思えます。
結びになりますが、今年の消防団員、関係者の皆様のご健勝と貴消防団の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹賀新年

公益財団法人
長野県消防協会

会長	上條 博文
業務執行理事	福澤 賢治
副会長	日下部良也
副会長	松木 道夫
常務理事	菅川 政義
理事	小野 政仁
理事	永井 豪
理事	関 俊之
理事	黒澤 薫
理事	小松 良成
理事	竹入 英城
理事	坂巻 剛弘
理事	田近 哲也
理事	二木 弘
理事	武田 望
理事	岡田 正
理事	中村 公彦
理事	豊田恵佐学
理事	出澤 重樹
理事	菅沼 祐介
理事	宮下 喜幸
理事	青木 弘
監事	
評議員	五十嵐幸男
評議員	河西 満正
評議員	藤森 芳樹
評議員	倉科 広三
評議員	田中 敏勝

このたびの能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表します。また、被害に遭われ、不自由な生活を送られていらっしゃる方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く安全な暮らしを取り戻すことができ、るようお祈り申し上げます。
被災地で復旧作業や被災者の支援を続けておられる消防関係の皆様、感謝申し上げますとともに、活動の安全をお祈りいたします。
(公財)
長野県消防協会
役員、事務局
職員一同

第2回理事会開催 令和6年度事業方針を決定



12月12日(火)、第1回専門委員会と第2回理事会を長野市で開催しました。各副会長と理事は、総務、教養、福利厚生等の専門委員会に分かれて、6年度事業の骨格となる事業方針案を協議。引き続き行われた理事会で各委員長が報告し、いずれも原案通り承認されました。理事会では、今年度の県消防ポンプ操法大会の実施報告や、操法大会のあり方、消防団活動の広報について意見交換などが行われました。

総務専門委員会関係

- ①基金運用、日本消防協会・県消防協定会定例表彰、消防団員の活動に対する事業所等への協力依頼について従来どおり行います。
- ②広報活動は、ホームページに新たに「消防団広報コーナー」を作成し、消防団や地区消防協会が行った特徴ある消防団の活動や

団員確保策を投稿により紹介します。また、ホームページ、機関紙「信州消防」はともに主要行事の案内や実施事業の報告を行います。フェイスブックは、ホームページにリンクを貼り、協会主要行事に加えて各団の事業を掲載します。

- ③女性消防団員活性化会議を引き続き開催し、県内女性消防団員の交流、情報交換を促進します。また、女性消防団員活性化大会の内容を検討していきます。
- ④県の関与として、6年度も今年度と同様の事業費補助及び当協会運営への参加を依頼します。

教養専門委員会関係

- ①第66回県消防ポンプ操法大会は、7月7日(日)、県消防学校で行います。運営方法等は今年度大会の反省事項を踏まえて実施要綱を作成し、今後の理事会で協議いただきます。
- (1)操法実施要領及び操法大会審査要領は、必要に応じて修正します。
- (2)運営方法
 - ・選手及び選手関係者の負担軽減と競技の効率化のため、地区消防協会ごとに集合し、受付・点検、競技のエリアを移動し、競技後退場する選手及び関係者の入替え方式とします。
 - ・消防団活動のPRと理解促進のため、来賓を招待するとともに、報道関係者に広報します。
- ②第33回県消防ラッパ吹奏大会は、期日は県消防ポンプ操法大会と同じ、場所は県消防学校屋

- 内訓練場で行います。
- (1)実施要領は大きな改正はない見込みです。
- (2)運営方法は令和5年度県消防ポンプ操法大会と同様です。
- (3)ブロック推薦審査員は、ブロック内の各地区協会が協議した上で決定し、報告いただきます。
- (4)ラッパ吹奏講習会は県消防学校もって正式決定とします。
- (4)ラッパ科講師の指導のもと、ブロック推薦審査員4名にも参加いただき4月20日(土)午後、県消防学校で行います。
- ③第14回長野県消防団長事務主任研修大会・第3回長野県女性消防団員活性化大会、県消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会表彰式を10月6日(日)午後1時から、長野市のシャトレレーゼホテル長野で行います。
- ④副団長講習会は、6月8日(土)午後、県消防学校で行います。
- ⑤消防団員指導員研修は、12月12日(木)と13日(金)に1泊2日の日程で県消防学校で行います。
- ⑥消防団幹部特別研修(日本消防協会主催)は、1月中旬に東京都で行われます。参加者1名の割当は、南信ブロックです。
- ⑦消防団幹部候補中央特別研修(日本消防協会主催)は、男性が1月下旬、女性が2月中旬に東京都で行われます。参加者男女各1名の割当は、東信、北信、中信の各ブロックです。
- ⑧第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会は、9月19日(木)に宇都宮市で開催されます。
- ⑨第30回全国消防操法大会は、10

- 月12日(土)に宮城県利府町で開催されます。長野県代表として、ポンプ車操法の優勝チームが参加します。激励金を交付します。
- 福利厚生専門委員会
 - ①日本消防協会の消防団員等福祉共済は、県下消防団員が全員加入しています。消防個人年金、婦人消防隊員等福祉共済、全日本消防人共済会の火災共済にも多くの団員に加入いただくよう、各団に呼び掛けていきます。
 - ②県消防関係殉職者慰霊祭は、9月4日(水)長野市花園平で行います。開催当番は当協会です。
 - ③第43回全国消防殉職者慰霊祭は、10月3日(木)東京都で行われます。
 - ④日本消防協会の福祉共済及び長野県消防協会定款細則に基づく弔慰金等について、請求漏れがないように制度の周知を図ります。
 - ⑤信州消防団員応援ショップ事業について、団員へ周知するため、ホームページや機関紙「信州消防」により積極的に広報します。

信州消防団員 応援ショップ

店舗登録
募集中!

消防団員とご家族のご利用をお待ちしております。

消防関係者 秋の叙勲

県内から4名が受章の栄に浴されました。(敬称略)

<ul style="list-style-type: none"> ◆瑞宝単光章 元長野市消防団 分団長 北澤勇一 元南木曾町消防団長 志水保仁 	<ul style="list-style-type: none"> ◆瑞宝双光章 元軽井沢町消防団長 土屋勝浩
--	---

県協会定例表彰

5年度の長野県消防協定会定例表彰は、95団(団及び分団)と2,551名を表彰、市町村の出初式等で授与されます。

<ul style="list-style-type: none"> ・優秀章 14団 ・無火災賞 3団 52分団 ・特別無火災賞 1団 25分団 ・功績章 81名 ・永年勤続功労章 302名 ・功労章 237名 ・努力章 205名 ・精進章 308名 ・技術章 200名 ・精勤章 192名 ・退職者感謝状 26名 	
---	--

第13回長野県消防団長・事務担当者研修大会開催



消防団員指導員研修を実施
副団長、分団長等指導的立場の消防団員を対象に、12月14日(木)と15日(金)の2日間、県消防学校で消防団員指導員研修を実施しました。研修には県下各地から34名が参加。上條会長、県消防課職員、県消防学校教官による講義や実技など9科目を受講しました。

10月18日(水)、松本市で消防団長と事務担当者、地区消防協会幹事合わせて約2百名が出席し、研修大会を開催しました。研修の前に県消防ポンプ操法大会・ラップ吹奏大会の表彰式並びに県消防団協力事業所等知事表彰式を実施しました。研修大会では、事例発表として松本市と伊那市の各消防団が団活動の理解促進のための取組みなどを紹介。講演では、糸魚川市消防団の斉藤直文団長が糸魚川市駅北の大火の際の活動や課題について熱のこもった体験談を披露されました。



消防団名	階級	氏名
川上村	分団長	日向 政彦
川上村	分団長	油井 彩悦
小諸市	副分団長	柏木 俊介
佐久市	分団長	利之 順
佐久市	副分団長	松井 利之
軽井沢町	部長	關 裕
御代田町	副分団長	櫻井 優樹
上田市	分団長	矢野 直樹
東御市	副分団長	竹村 光博
長和町	分団長	古川 俊之
岡谷市	副分団長	御子柴 健朗
富士見町	分団長	小林 良司
原那市	副分団長	北野 正實
伊那市	副分団長	矢野 正徹
伊那市	副分団長	北野 正徹
駒ヶ根市	副分団長	向山 正浩
駒ヶ根市	副分団長	宮澤 俊輔
平谷町	副分団長	川上 英智
売木村	副分団長	清水 健悟
泰阜村	副分団長	松本 健悟
橋本村	副分団長	横前 敏武
上松町	副分団長	町野 宏洋
南木曾町	副分団長	高橋 宏洋
王滝村	副分団長	下原 伸一
松本市	副分団長	大澤 貴弘
塩尻市	分団長	清水 茂水
安曇野市	分団長	望月 健史
麻績村	副分団長	佐藤 佳彦
朝日村	分団長	福井 充
池田町	分団長	矢野 和
松川村	分団長	宮本 徹
長野市	副分団長	石坂 正
信濃町	副分団長	岩尾 利久
飯綱町	副分団長	石川 久
山ノ内町	副分団長	竹田 久



第28回全国女性消防団員活性化石川大会に参加



参与会開催
10月26日(木)、参与会(県協会長経験者14名で構成)を上田市内で開催しました。参与11名、評議員4名と正副会長、並びに上小消防協会正副会長が出席。今年度は会長の改選が行われ、会長は五十嵐幸男氏から、中澤學氏に、副会長は塩崎貞夫氏に決定しました。

会議後は来賓に柳沢 振興局長、土屋上田市 長並びに堀池上田地域 広域連合消防長をお招きし、懇親会が行われました。



全国女性消防団員活性化石川大会(主催総務省消防庁、(公財)日本消防協会など)が11月16日(木)金沢市で開催され、全国から約三千名の女性消防団員、関係者が集いました。当県からは正副会長、女性消防団員など103名が参加しました。大会では、女性消防団員による紙芝居、事例発表、石川県知事とタレント山田邦子さんの対談など盛りだくさんのステージが行われました。県消防協会として出展した展示ブース、「長野県女性消防団員活性化会議」活動発表も注目を集めていました。



消防出初式各地で挙行

令和6年の消防出初式が74市町村で挙行されています。(1月実施67、4月実施7)

茅野市では、各消防団が1月1日に発生した能登半島地震も教訓に、災害対応力の向上と地域を守る決意を新たにしました。また、被災地への配慮等で分列行進の取り止めや式典前に黙とうを行うなどの対応をした市町村もありました。

◆茅野市消防出初式

茅野市では、1月7日(日)消防団員529名が参加して市内を分列行進し、茅野市民館で表彰式が行われました。来賓で出席した阿部守一知事は祝辞で、団員の活動に感謝を述べ、激励しました。



茅野市消防出初式 阿部知事

◆松本市消防出初式

特別表彰「まとい」お披露目会
1月5日(金)県下のトップを切つて、観閲式と式典が行われました。



松本市消防出初式観閲式

分列行進には消防団員等約600名が参加し、千歳橋で観閲式、まともと市民芸術館で表彰式が挙行されました。

出初式後、市内のホテルに会場を移し、団主催で特別表彰「まとい」お披露目会が行われました。

特別表彰「まとい」は(公財)日本消防協会が行う表彰で、松本市消防団は2年度に受章後、新型コロナウイルスにより披露の機会が持てなかったものです。来賓で出席された(公財)日本消防協会の秋本敏文会長から上條団長に改めて表彰状及びまといの授与が行われました。



「まとい」お披露目会 秋本会長

第25回全国女性消防操法大会開催

飯田市女性消防隊出場

10月21日(土)全国女性消防操法大会が東京臨海広域防災公園で行われ、長野県代表として飯田市女性消防隊が出場しました。

参加者は全国から約3千名、44チーム。長野県からは選手をはじめ、飯田市消防団(坂巻団長の幹部、サポートの団員約30名)が参加しました。

選手は前日に公式練習と激励交流会に参加。厳しい練習を持ち前の明るさとチームワークで乗り越えた皆さん、本番の競技でも成果を出し切り、20位で敢闘賞に輝きました。上條会長は競技後の報告会で「県代表として大変誇らしい。県内全ての消防団に勇気を伝えていただいたい」と労いました。



全国女性消防操法大会に出場

「かけがえのない宝物」

飯田市女性消防隊 3番員 佐々木彩乃



皆一丸となり切磋琢磨しながら訓練ができたと思います。時折「扶む」もぐもぐタイムは心と身体の栄養となり、活力に繋がりました。

大会当日は、最高の秋晴れとこの場に立てる幸せとで気持ちの高ぶりを感じました。関係者各位、前日出場の上田市の皆さん、そして訓練開始から協力を惜しまず、見守ってくれた各分団長の皆さんの声援は一体感を醸成したと思います。

18年ぶりに長野県代表となった飯田市は、令和5年10月21日(土)、東京臨海広域防災公園で開催された第25回全国女性消防操法大会に出場しました。

全国の大舞台。各分団から集まった精鋭8名は、場の雰囲気をつまみつかず隊長の木下を始め、皆の士気を高め牽引する指揮者の山口、パワフルな中に繊細さを秘め、無駄な動き無く安定感抜群の1番員の佐藤、明るく前向きで真っ直ぐな感情表現で元気をくれる2番員の長沼、穏やかで癒し系、しかし探求心と忍耐力を持つ4番員の市瀬、最年少でも常に冷静沈着で鋭い視点を持つ補助員の福田、選手と同じ目線で寄添う心強い補助員の平澤。この個性溢れるメンバーで大会に臨むことになりましたが、当初は軽可搬ポンプに不慣れで戸惑いの連続でしたが、全てがゼロスタートでしたが、

まいった精鋭8名は、場の雰囲気を捉え和まず隊長の木下を始め、皆の士気を高め牽引する指揮者の山口、パワフルな中に繊細さを秘め、無駄な動き無く安定感抜群の1番員の佐藤、明るく前向きで真っ直ぐな感情表現で元気をくれる2番員の長沼、穏やかで癒し系、しかし探求心と忍耐力を持つ4番員の市瀬、最年少でも常に冷静沈着で鋭い視点を持つ補助員の福田、選手と同じ目線で寄添う心強い補助員の平澤。この個性溢れるメンバーで大会に臨むことになりましたが、当初は軽可搬ポンプに不慣れで戸惑いの連続でしたが、全てがゼロスタートでしたが、

今大会に係る日々の訓練を共にした仲間が、かけがえのない存在となり、そして宝物になりました。この経験を胸にこれからの飯田市消防団が発展していくよう、活動の振り返りと改善、そしてスモールステップで進んでいきたいです。

